



2015年度 期末決算説明会

2016年5月30日

株式会社 A D E K A
証券コード 4 4 0 1



2015年度 期末決算説明

〔2015年4月～2016年3月〕

代表取締役社長 郡 昭夫

目次

1. 2015年度 連結業績
2. 中期経営計画「STEP 3000-Ⅱ」の進捗状況
3. 2016年度 連結業績予想
4. 2016年度 事業施策
5. ご参考
 - ・ 2016年標語
 - ・ 海外売上高

1. 2015年度 連結業績

2015年度 連結業績の概要

連結

(単位：億円)

	2014年度	2015年度	増減	増減率 (%)
売上高	2,058	2,227	168	8.2
営業利益	140	193	52	37.8
経常利益	165	195	30	18.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	111	132	20	18.6
1株当たり純利益 (円/株)	108.3円	128.4円	20.1円	
配当金 (円/株)	26円	30円	4円	

- 化学品・食品事業ともに好調に推移し、売上高、営業利益、経常利益、純利益のいずれも過去最高を更新した。
- 配当は、今年度の業績、財務状況などを総合的に勘案し、当初予想（2015年5月12日）の28円/年から2円増配し、1株につき30円/年とした。
- 会計方針の変更
海外子会社の業績をよりの確に連結財務諸表に反映させるため、2015年度より、海外子会社の収益及び費用の為替換算方法を期末日レート法から期中平均レート法に変更した。

注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

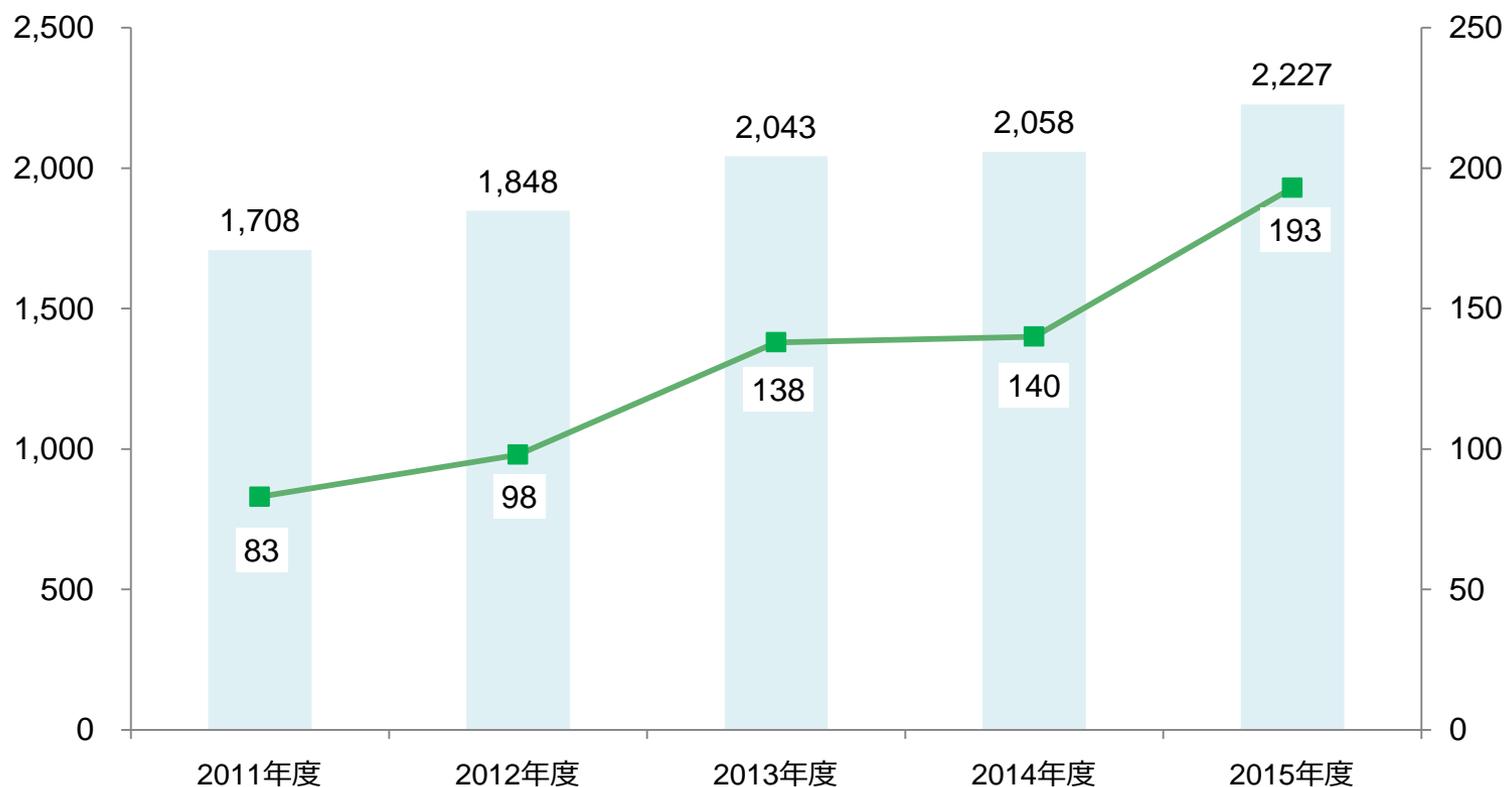
連結業績推移

連結

売上高：億円

売上高 営業利益

営業利益：億円



注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2015年度 連結業績(セグメント別数値)

(単位：億円)

連結

	2014年度	2015年度	増減	増減率(%)
売上高	2,058	2,227	168	8.2
化学品	1,424	1,538	113	8.0
情報・電子化学品	192	217	25	13.1
機能化学品	1,074	1,136	62	5.8
基礎化学品	158	184	26	16.6
食品	570	611	40	7.2
その他	63	77	14	22.0
営業利益	140	193	52	37.8
化学品	123	171	47	38.8
情報・電子化学品	34	47	13	40.4
機能化学品	81	98	17	21.5
基礎化学品	8	24	16	204.4
食品	11	16	4	41.6
その他	5	5	0	4.8

注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

セグメント情報 / 化学品事業 (情報・電子化学品)

連結

情報・電子化学品 (増収・増益)

1. 半導体材料は、最先端の微細化プロセスに対応したDRAMやNANDメモリ向け製品が、海外を中心に伸長した。
2. 回路材料は、国内市場の縮小や海外市場での生産調整の影響を受け、総じて低調に推移した。
3. 光学フィルムやフォトレジストに使用される光硬化樹脂や光重合開始剤などの感光性材料は、ディスプレイの高精細化や半導体の微細化に対応し、競争力の高い独自製品が国内外で大きく伸長した。

(単位：億円)

	2014年度	2015年度	増減
売上高	192	217	25
営業利益	34	47	13

注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

セグメント情報 / 化学品事業 (機能化学品)

連結

機能化学品 (増収・増益)

1. 樹脂添加剤は、自動車及び建材などに使われる樹脂の国内生産が底堅く推移し、透明化剤、造核剤、光安定剤などの販売が伸長した。海外では透明化剤、光安定剤などの高機能製品と汎用の酸化防止剤が伸長した。
2. 界面活性剤は、化粧品原料の販売数量が減少したが、塗料・接着剤向けが国内外で伸長した。
3. 潤滑油添加剤は、自動車エンジンオイル向けの添加剤が国内外で堅調に推移した。
4. 機能性樹脂は、自動車向けの高機能な特殊エポキシ樹脂が海外を中心に伸長した。

(単位：億円)

	2014年度	2015年度	増減
売上高	1,074	1,136	62
営業利益	81	98	17

注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

セグメント情報 / 化学品事業(基礎化学品)

連結

基礎化学品 (増収・増益)

1. プロピレングリコール類は、トイレタリー等の日用品用途の需要が堅調に推移した。
2. 過酸化水素は、販売価格の改定を行うとともに、期を通じて生産・物流効率の見直しなどのコスト削減に取り組んだ。
また同誘導品は、電子材料、工業用洗浄剤用途で販売数量が伸長した。

(単位：億円)

	2014年度	2015年度	増減
売上高	158	184	26
営業利益	8	24	16

注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

セグメント情報 / 食品事業

連結

食品（増収・増益）

1. 製パン、洋菓子・デザート向けにマーガリン、ホイップクリーム、フィリング類が好調に推移した。
2. 海外では、製パン、製菓向けに加工油脂製品、フィリング類が伸長した。

(単位：億円)

	2014年度	2015年度	増減
売上高	570	611	40
営業利益	11	16	4

注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2. 中期経営計画「STEP 3000-Ⅱ」の進捗状況

中期経営計画の概要

2025年の
ありたい姿

ADEKA VISION 2025

先端技術で明日の価値を創造し
豊かなくらしに貢献するグローバル企業

中期経営計画「STEP 3000 – II ～グッドカンパニーの実現～」

期 間

2015～2017年度（3カ年）

位置づけ

- ・売上高3,000億円のグッドカンパニーを確実に実現する期間
- ・ADEKA VISION 2025の達成に向けた最初の3年間

基本戦略

1. コア事業を中心とした規模拡大
『樹脂添加剤』 『食品』
2. 第3のコア事業の育成
『情報・電子』
3. 新規事業の育成や業容／領域の拡大
『ライフサイエンス』 『環境・エネルギー』

3つの基本方針

1. 海外
グローバル化の拡大とローカライゼーションの加速
2. 技術
基盤・コア技術の深耕によるイノベーションの創出
3. 人財
グローバル人財、戦略立案人財の拡充と成長

数値目標に対する進捗

(単位：億円)

	2014年度 前中計最終年度 (実績値)	2015年度 中計1年目 (実績値)	2017年度 中計最終年度 (目標値)
売上高	2,058	2,227	3,000
営業利益	140	193	240
営業利益率	6.8%	8.7%	8.0%
海外売上高	843	973	1,500
海外売上高比率	41.0%	43.7%	50.0%

注) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

第三のコア事業に向け、戦略分野で世界トップシェアを目指す

■ 電子材料

- ・ 鹿島工場と韓国のADEKA KOREA CORPORATIONで、需要の拡大が見込める高誘電材料の設備投資を実行中。
- ・ ADEKA KOREA CORPORATIONで、研究施設や分析機器の充実を図り、技術革新に即応した製品開発を可能とする研究開発体制を構築した。

■ 情報化学品

- ・ 千葉工場で、電子機器に使われる光硬化樹脂の生産能力を増強した。
- ・ 光重合開始剤は、ディスプレイの高感度と高輝度を両立した新製品を開発し、製品ラインナップを拡充した。
- ・ ブラックマトリックスレジストの生産を、台湾の台湾艾迪科精密化学に集約し、コスト競争力を強化した。

機能化学品

海外展開をさらに加速する

■ 樹脂添加剤

- ・ 縮合リン酸エステル系難燃剤の生産を中国・台湾に集約し、競争力を強化した。
- ・ 汎用酸化防止剤の供給体制をさらに強化した。
- ・ ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) の研究開発体制（実験/製品評価設備）を強化した。

■ 界面化学品

- ・ エンジンオイル向けの潤滑油添加剤は、新たに製品評価設備を導入し、ディーゼルエンジン向け製品の研究開発体制を強化した。
- ・ 化粧品原料は、低刺激性を特長とする新規グリコールを開発し、展示会への出展など、プロモーション活動を強化した。

■ 機能性樹脂

- ・ エポキシ樹脂は、自動車分野をターゲットとした高機能品の開発・販売体制を強化した。
- ・ 低塩素エポキシ樹脂と硬化剤の配合技術を生かして、レーザーで樹脂を硬化させる接着システムを開発。電子材料向けなどで本格的な市場開拓を開始した。

基礎化学品

徹底したコストダウンによる基盤強化を図るとともに、新規分野への参入を果たす

■ 過酸化製品

- ・ 過酸化製品は、製造・物流体制の見直しなど、徹底したコストダウンを行うとともに、価格改定を実施した。

■ 工薬（プロピレングリコール類）

- ・ 工業薬品は、化粧品向けなどをターゲットとして高機能品の拡販と市場開拓を推進した。

■ 産業資材

- ・ 水膨張性止水剤は、国内での新製品の拡販に加え、中国をはじめとする新興国市場の開拓を推進した。

油脂加工技術を磨き、アジアの豊かな食生活に貢献する

■ 国内基盤の強化

- ・新製品開発を促進するとともに、美味しさと高い機能性をあわせもつ戦略製品の拡販に注力した。

○機能性マーガリン「スーパーバーナード」(2015年度新製品)

パンをソフトにする機能と素材の風味を引き立てる特性が評価され、販売が好調に推移した。

- ・明石工場で、2015年4月に国際的な食品安全システム認証規格「FSSC 22000」を取得し、国内すべての食品製造工場での認証取得が完了*した。

* 鹿島工場：2014年12月に認証取得 鹿島西製造所：2011年12月に認証取得し、2014年12月に更新

■ 海外展開の加速

- ・中国の艾迪科食品（常熟）有限公司では、現地嗜好にあった製品の開発を推進するとともに、販売体制を強化した。
- ・マレーシアのADEKA FOODS (ASIA)の製造工場が本格稼働し、東南アジア圏をターゲットに加工油脂製品の販売を開始した。
- ・ADEKA FOODS (ASIA) で、2015年4月にHACCP認証を取得した。

新規事業

社内技術の融合、社外リソースの活用も図り、新規事業の創出を加速する

－ 特に注力する分野『ライフサイエンス』『環境・エネルギー』

■ ライフサイエンス分野

再生医療、予防医療、生活の質向上をキーワードとして研究開発を推進。

- ・ 医療材料分野では、次世代医療材料である脱細胞化再生医療材料や経鼻吸収型ワクチン向けアジュバントなどを開発し、事業化への取り組みを推進した。
- ・ 大学と共同研究中の大腸がん超早期発見診断薬「ナノビーコン」は、医療機関と協力して臨床研究を開始した。

■ 環境・エネルギー分野

発電、蓄電、省エネルギー、低環境負荷をキーワードとして研究開発を推進。

- ・ 次世代エレクトロニクス分野のほか、幅広い分野への応用が期待されるグラフェン*の製造技術に関する特許の独占ライセンスを東京大学から取得し、サンプル提供を開始した。
- ・ NEDOの「風力発電高度実用化研究開発」プロジェクトに参画し、風力発電用ブレードに使う繊維強化プラスチック向け熱硬化エポキシ樹脂を開発した。

*グラフェン：ナノカーボン材料の1種。電気を良く通す、軽くて強いなどの特長があり、将来の燃料電池、半導体、タッチパネルなどの材料として期待されている。

海外展開－主要海外子会社の動向－

■ 艾迪科（上海）貿易有限公司【中国】

ADEKAグループ製品（化学品・食品）の輸出入・販売業務と市場調査活動及び中国における統轄業務を目的として、2001年に設立。

2015年度は、樹脂添加剤事業の営業体制と顧客へのテクニカルサービスを強化した。また、情報・電子化学品、潤滑油添加剤の販売を拡大した。

■ ADEKA KOREA CORPORATION【韓国】

樹脂添加剤と情報・電子化学品の販売を目的として2000年に設立。

最先端のDRAM向けに新規高誘電材料の製造・販売を開始し、売上、利益ともに大きく伸長した。

■ 艾迪科食品（常熟）有限公司【中国】

加工油脂、加工食品の製造、販売を目的として2004年に設立。

2015年度は、製パン、製菓向けにクリーム類の販売が好調に推移し、売上、利益ともに伸長した。

設備投資

主な海外投資

■ 樹脂添加剤事業

- ・ 米国のAMFINE CHEMICAL CORPORATIONで高機能添加剤の生産設備増強に着手
- ・ フランスのADEKA PALMAROLE SASでワンパック顆粒添加剤の生産設備増強に着手

■ 食品事業

中国の艾迪科食品（常熟）有限公司で加工食品製品の製造ラインを増設

■ 情報・電子事業

韓国のADEKA KOREA CORPORATIONで高誘電材料の生産設備新設に着手

3. 2016年度 連結業績予想

2016年度 連結業績予想

連結

(単位：億円)

	2016年度			対前年度 増減	増減率 (%)
	上期 (予想)	下期 (予想)	通期 (予想)		
売上高	1,115	1,195	2,310	82	3.7
営業利益	89	105	194	1	0.5
経常利益	85	113	198	2	1.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	58	77	135	2	1.8
1株当たり純利益 (円/株)	56.2円	74.6円	130.7円	2.3円	
配当金 (円/株)	15円	15円	30円	0円	

		2016年度前提	2015年度実績
為替	円/\$	115.00	119.14
	円/€	125.00	131.08
ナフサ	円/KL	40,000	42,800

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2016年度 連結業績予想(セグメント別)

(単位：億円)

連結

	上期予想 (a)	下期予想 (b)	通期予想 (a)+(b)	前年度実績 (c)	増減 (a)+(b)-(c)	増減率 (%)
売上高	1,115	1,195	2,310	2,227	82	3.7
化学品	775	805	1,580	1,538	41	2.7
情報・電子化学品	120	125	245	217	27	12.7
機能化学品	572	598	1,170	1,136	33	3.0
基礎化学品	83	82	165	184	△ 19	△ 10.5
食品	312	343	655	611	43	7.2
その他	28	47	75	77	△ 2	△ 3.8
営業利益	89	105	194	193	1	0.5
化学品	81	89	170	171	△ 1	△ 0.8
情報・電子化学品	25	27	52	47	4	8.8
機能化学品	49	54	103	98	4	4.5
基礎化学品	7	8	15	24	△ 9	△ 39.7
食品	7	13	20	16	3	23.6
その他	1	3	4	5	△ 1	△ 27.3

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

4. 2016年度 事業施策

2016年度 事業施策

情報・電子化学品

- 半導体材料は、安定供給によりDRAM向けのシェアを堅持するとともに、NAND・ロジック半導体向けの販売を強化し、事業領域の拡大を図る。
- 光材料は、光学フィルムやカラーフィルター向けの光硬化樹脂、光重合開始剤を拡販するとともに、最先端市場の開拓と新規顧客の獲得を目指す。

機能化学品

- 樹脂添加剤は、紫外線吸収剤、光安定剤など高機能製品の拡充と酸化防止剤など汎用製品の拡販を海外拠点と連携して進めるとともに、グローバル市場をリードする新製品の開発を推進する。
- エンジンオイル添加剤は、国内、欧州の自動車メーカーへの販売を強化する。
- 化粧品原料は、海外での法規制・登録制度への対応と生産体制の強化により国内外での拡販を目指す。
- 反応性乳化剤は、海外市場を重点とした拡販と新規市場開発を加速する。

基礎化学品

- 過酸化製品は、収益性のさらなる改善を図るとともに、高付加価値製品の開発を加速する。
- プロピレングリコール類は、高付加価値製品の用途展開を加速する。

食品

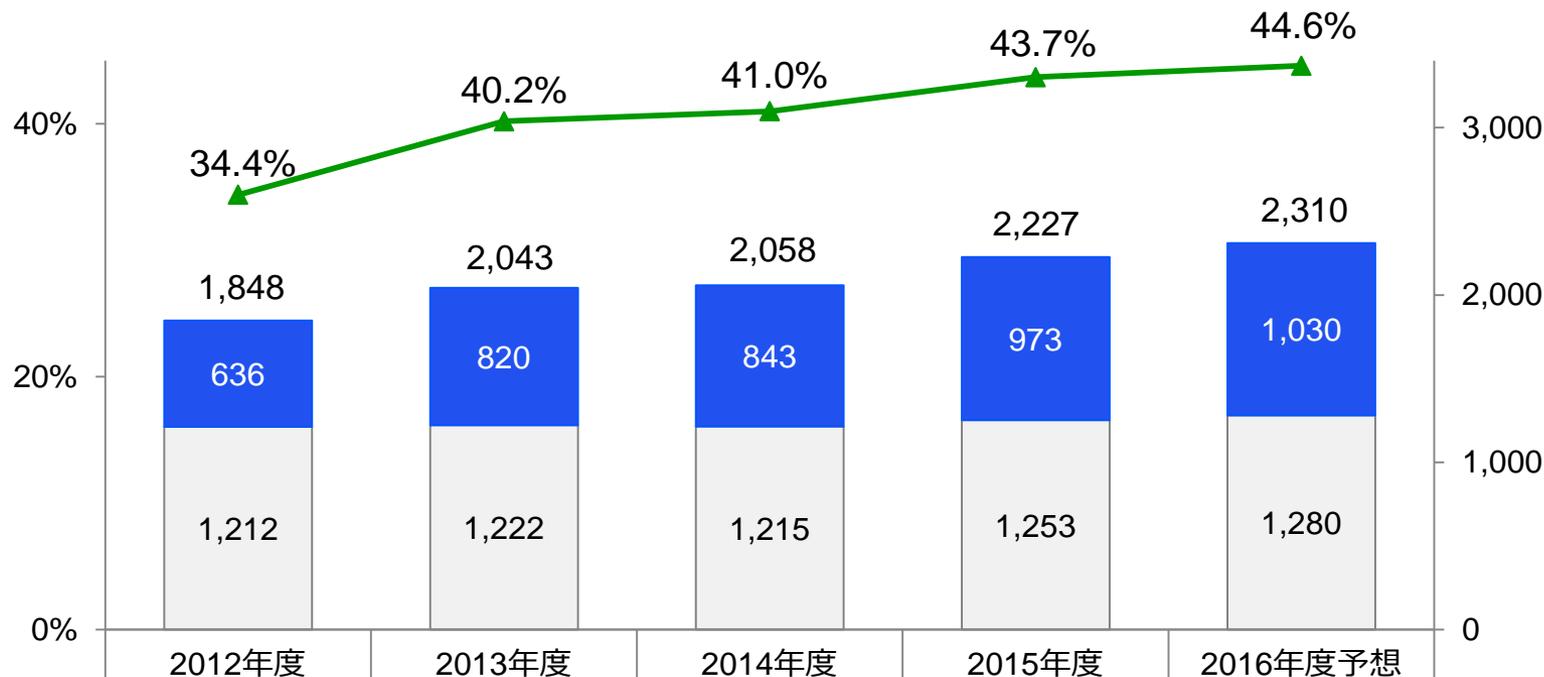
- 国内は、製パン・製菓・洋菓子市場で戦略製品・新製品を拡販し、事業基盤を強化すると同時に、品種統合などのコスト削減策を継続し、収益改善を図る。
- 海外は、現地嗜好に合った製品と食感や風味などを高める製品の開発を推進し、アジア市場をターゲットに加工油脂、加工食品の販売拡大を目指す。

5. ご参考

**100年の
技術と信頼
加速させよう
STEP 3000-II**

海外売上高(ご参考)

(単位：億円)



■ 海外売上高	636	820	843	973	1,030
□ 国内売上高	1,212	1,222	1,215	1,253	1,280
▲ 海外売上高比率	34.4%	40.2%	41.0%	43.7%	44.6%
売上高	1,848	2,043	2,058	2,227	2,310

注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2015年度 決算説明補足資料

- I. 連結決算補足資料
- II. 経営指標等
- III. ご参考
 - 単独・連結子会社の決算概要
 - ADEKAグループ概要（連結子会社・持分法適用会社）
 - 事業区分別主力製品

取締役常務執行役員 富安 治彦

I-1. 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2015.3.31現在)	当連結会計年度 (2016.3.31現在)	前年度比 増減
資産の部			
流動資産 ①	135,558	145,076	9,518
固定資産	125,553	124,962	△ 591
有形固定資産 ②	76,640	78,529	1,888
無形固定資産	3,460	3,818	358
投資その他の資産 ③	45,452	42,613	△ 2,838
資産合計	261,112	270,038	8,926
負債の部			
流動負債 ④	69,493	65,991	△ 3,501
固定負債 ⑤	28,385	33,461	5,075
負債合計	97,878	99,452	1,574
純資産の部			
株主資本	143,251	153,363	10,112
資本金	22,899	22,899	-
資本剰余金	19,925	19,926	0
利益剰余金	100,652	110,764	10,112
自己株式	△ 226	△ 227	△ 0
その他の包括利益累計額	13,667	9,945	△ 3,721
その他有価証券評価差額金	6,363	4,490	△ 1,872
土地再評価差額金	4,095	4,276	180
為替換算調整勘定	5,316	4,082	△ 1,233
退職給付に関する調整累計額	△ 2,108	△ 2,904	△ 796
非支配株主持分	6,314	7,276	962
純資産合計	163,233	170,586	7,352
負債及び純資産合計	261,112	270,038	8,926

POINT①

流動資産の増加

現金及び預金の増加	7,741百万円
有価証券の増加	1,500百万円

POINT②

有形固定資産の増加

機械装置及び運搬具の増加	3,059百万円
建設仮勘定の減少	△ 1,875百万円

POINT③

投資その他の資産の減少

投資有価証券の減少	△ 2,372百万円
-----------	------------

POINT④

流動負債の減少

1年内返済予定の長期借入金の減少	△ 4,032百万円
------------------	------------

POINT⑤

固定負債の増加

長期借入金の増加	3,348百万円
退職給付に係る負債の増加	1,900百万円

注1) 金額は百万円未満を切り捨てて表示 注2) 有形固定資産の減価償却累計額 159,252百万円

I-2. キャッシュフロー計算書(要約)

連結

(単位：百万円)

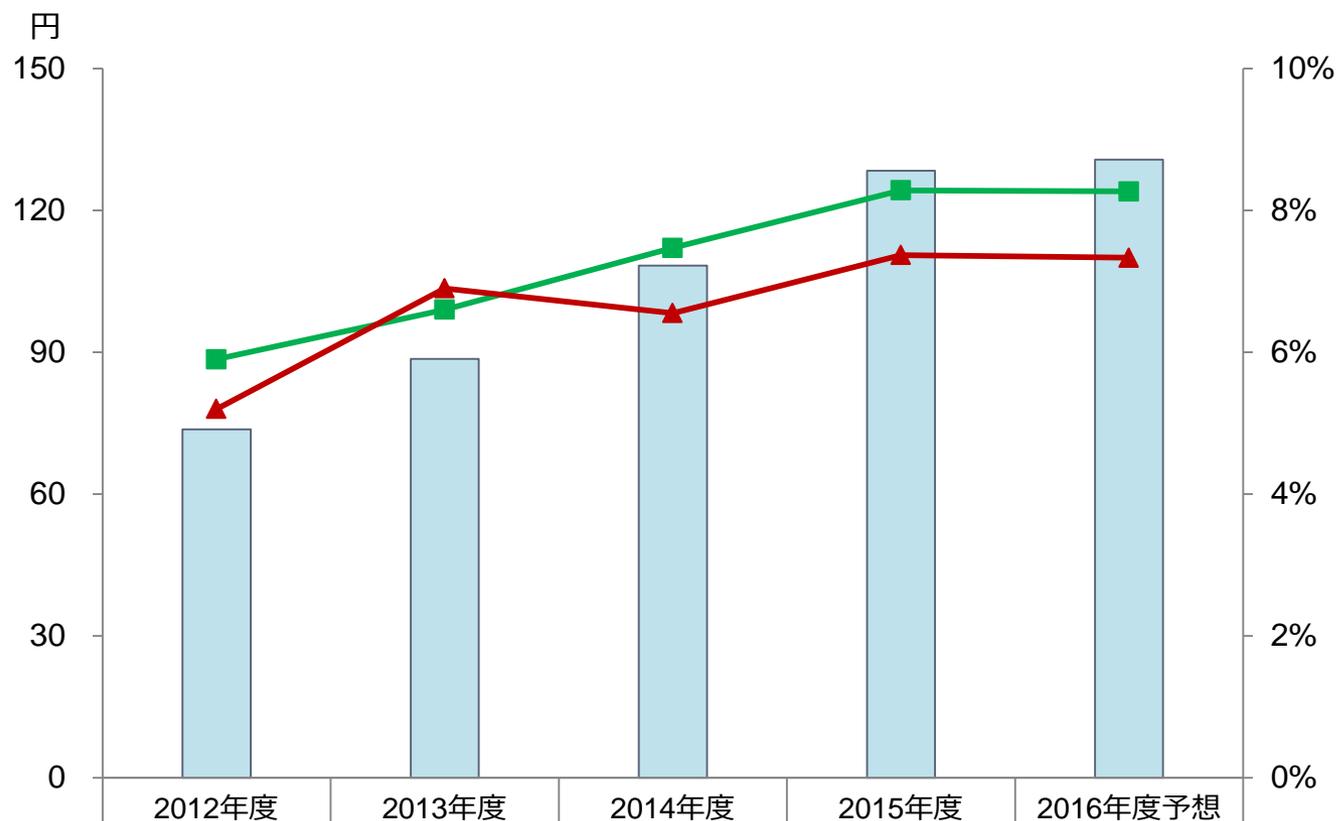
	前連結会計年度 (自 2014年4月1日 至 2015年3月31日)	当連結会計年度 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ①	17,419	23,806
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,867	△ 10,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,813	△ 4,566
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,288	△ 860
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,027	7,706
現金及び現金同等物の期首残高	38,670	41,697
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	577
現金及び現金同等物の期末残高	41,697	49,981

POINT① 営業活動によるキャッシュ・フローの収入増は、税金等調整前当期利益の増加及びたな卸資産の減少が主な要因である。

注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示

Ⅱ-1. 収益性

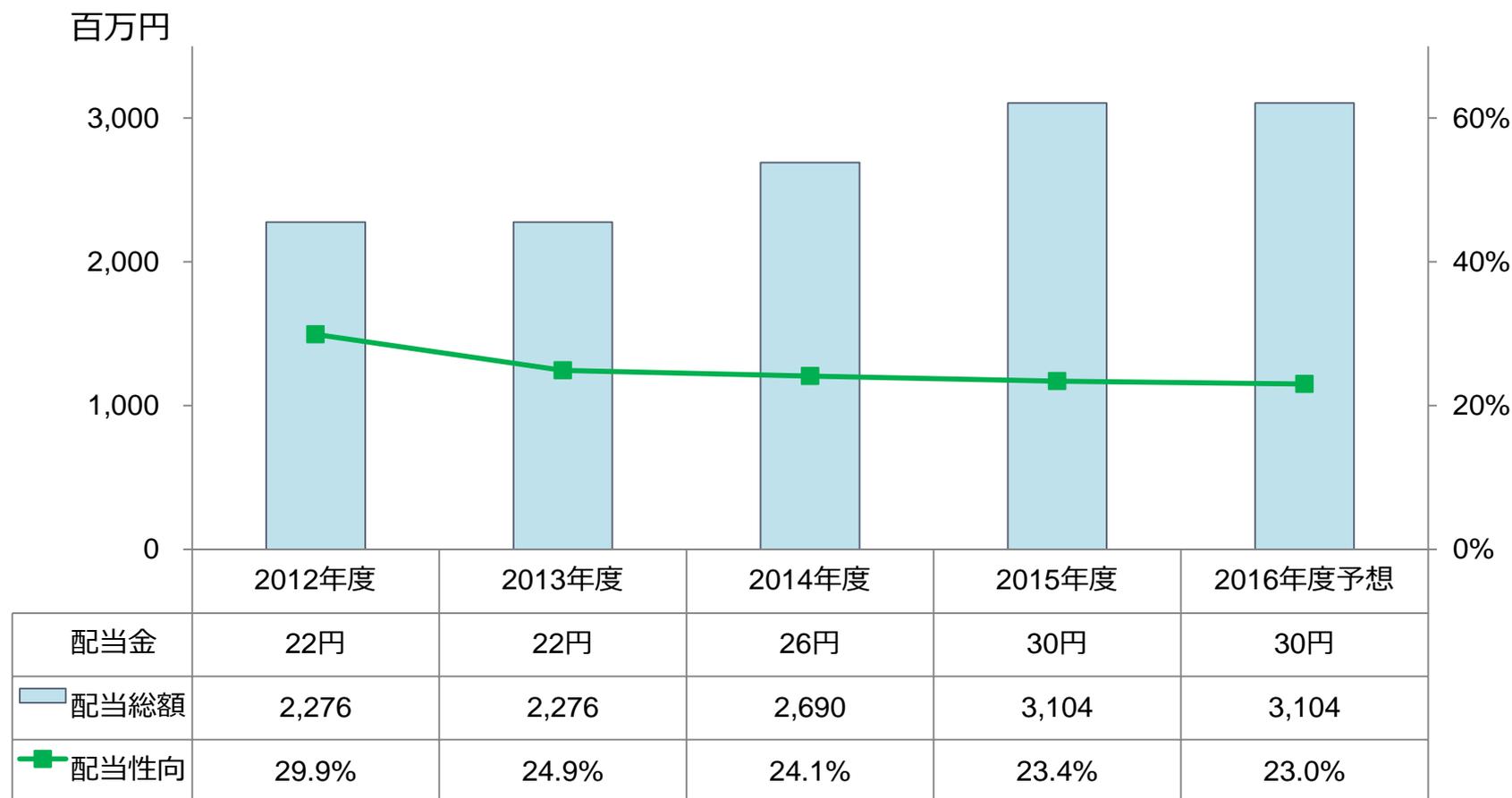
連結



注) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

Ⅱ-2. 配当金、配当性向

連結



注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 配当総額は百万円未満を切り捨てて表示

Ⅱ-3. 研究開発費

連結

百万円

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

8%

6%

4%

2%

0%

2012年度

2013年度

2014年度

2015年度

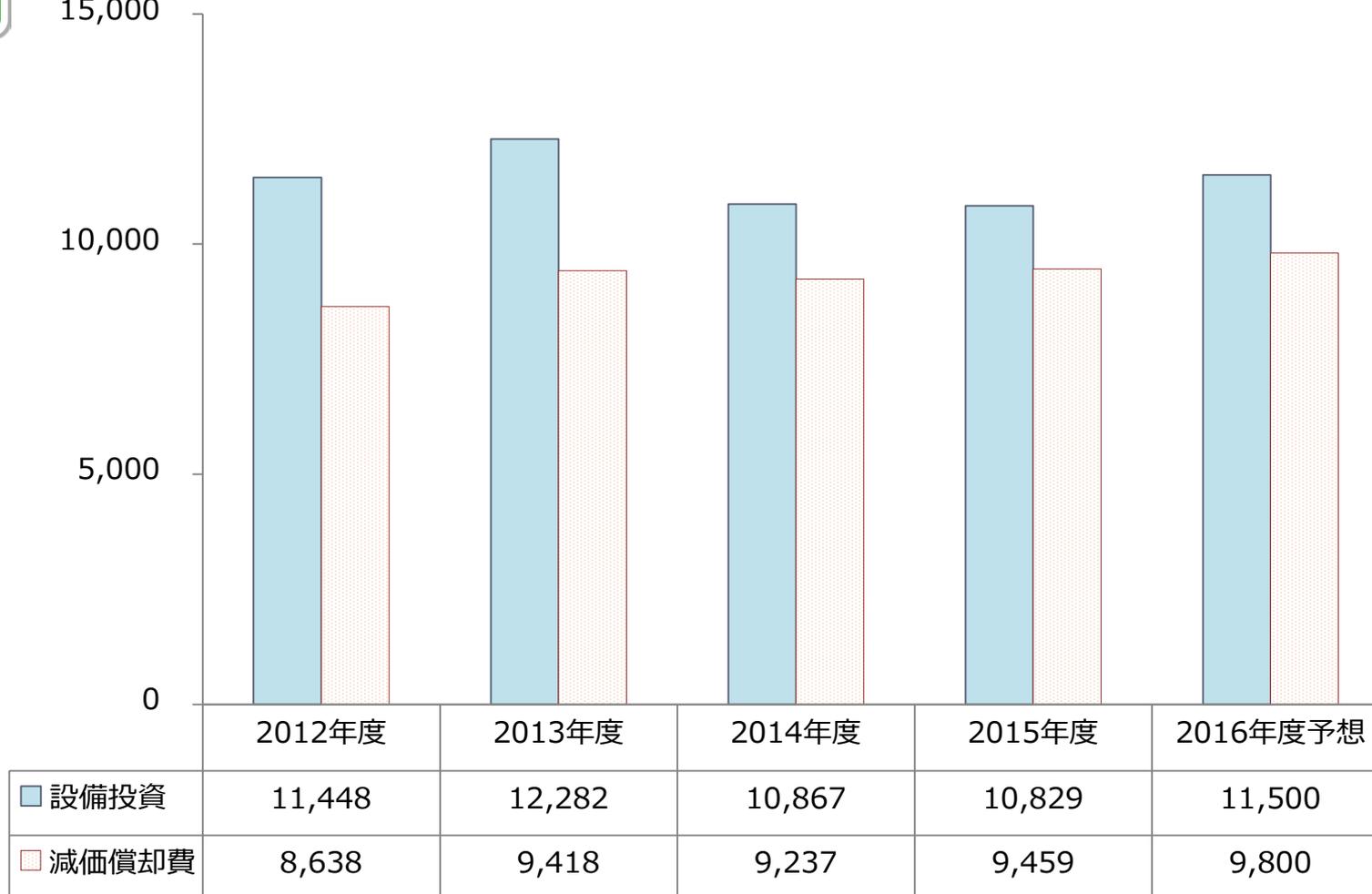
2016年度予想

■ 研究開発費	7,614	7,988	8,247	8,588	8,700
■ 売上高研究開発費比率	4.1%	3.9%	4.0%	3.9%	3.8%

注) 研究開発費は百万円未満を切り捨てて表示

Ⅱ-4. 設備投資

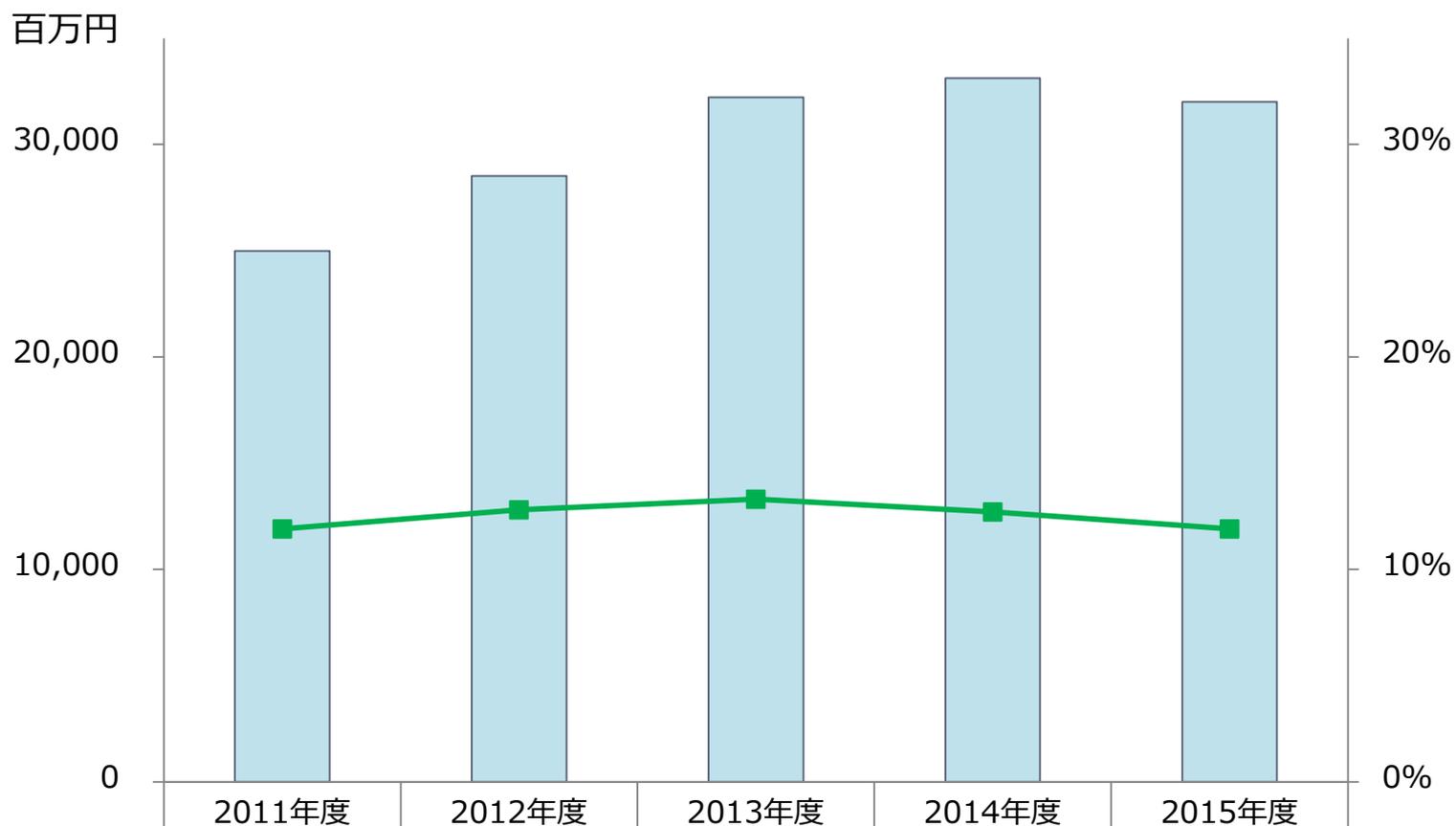
連結

百万円
15,000

注) 設備投資、減価償却費は百万円未満を切り捨てて表示

Ⅱ-5. 有利子負債

連結



有利子負債	24,992	28,513	32,222	33,123	32,003
有利子負債依存度	11.9%	12.8%	13.3%	12.7%	11.9%

注) 有利子負債は百万円未満を切り捨てて表示

Ⅲ-1. 単独・連結子会社の決算概要

(単位：億円)

単独決算				
	2014年度	2015年度	増減	増減率 (%)
売上高	1,207	1,235	27	2.3
営業利益	87	119	32	36.9
経常利益	106	134	28	26.8
当期純利益	74	96	21	29.0
1株当たり 当期純利益	72.1	93.0		

国内（10社）				
	2014年度	2015年度	増減	増減率(%)
売上高	736	762	25	3.4
営業利益	11	13	2	18.8

海外（15社）注1				
	2014年度	2015年度	増減	増減率(%)
売上高	1,058	1,222	163	15.4
営業利益	49	66	17	34.9

連結調整（消去他）		
	2014年度	2015年度
売上高	△944	△993
営業利益	△7	△5

注1) 2015年度からマレーシアのADEKA FOODS (ASIA) を連結の範囲に追加 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

Ⅲ-2. 連結子会社概要(国内10社)

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
化学品	ADEKAケミカルサプライ(株)	104百万円	98.04 (間接所有3.61)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
化学品	ADEKAクリーンエイド(株)	140百万円	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
化学品	オキシラン化学(株)	600百万円	51.00	エポキシ系可塑剤等の製造販売
食品	ADEKA食品販売(株)	42百万円	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
食品	(株)ヨンゴー	18百万円	92.14	製菓・製パン業務用資材の卸売
食品	ADEKAファインフーズ(株)	50百万円	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、魚介類を使用した加工製品の製造販売
食品	上原食品工業(株)	70百万円	100.00	フラワーペースト、餡類及びレトルト調理食品の製造販売
その他	ADEKA物流(株)	50百万円	100.00	当社物流の総元請、倉庫業、車輛等のリース
その他	ADEKA総合設備(株)	130百万円	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
その他	ADEKAライフクリエイト(株)	65百万円	90.00 (間接所有10.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器職域販売、ビル・社宅等の管理運営

注) 資本金は百万円未満を切り捨てて表示

Ⅲ-3. 連結子会社概要(海外15社)

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率 (%)	事業内容
米国	化学品	AMFINE CHEMICAL CORP.	1,600万USドル	60.00	樹脂添加剤の製造・販売
米国	化学品	AM STABILIZERS CORP.	850万USドル	60.00 (間接所有 60.00)	樹脂添加剤の製造・販売
ドイツ	化学品	ADEKA Europe GmbH	50万ユーロ	100.00	化学製品の販売
フランス	化学品	ADEKA PALMAROLE SAS	300万ユーロ	90.00 (間接所有 90.00)	樹脂添加剤の製造・販売
中国	化学品	艾迪科(上海)貿易有限公司	100万USドル	100.00	化学製品の販売
中国	化学品	艾迪科精細化工(上海)有限公司	2,050万USドル	100.00	樹脂添加剤、機能性樹脂、 電子材料等の製造・販売
中国	化学品	艾迪科精細化工(常熟)有限公司	2,154万USドル	50.00	樹脂添加剤の製造・販売
中国	食品	艾迪科食品(常熟)有限公司	1,500万USドル	70.00	加工油脂、加工食品の製造・販売
台湾	化学品	長江化学股份有限公司	3,000万NTドル	50.50	樹脂添加剤及び可塑剤等の製造・販売
台湾	化学品	台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTドル	100.00	化学製品の製造・販売
韓国	化学品	ADEKA KOREA CORP.	150億ウォン	100.00	化学製品の製造・販売
タイ	化学品	ADEKA FINE CHEMICAL(THAILAND)CO.,LTD.	3億5000万バーツ	81.00	化学製品の製造・販売
シンガポール	化学品	ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	80万USドル	100.00	化学製品の販売
シンガポール	食品	ADEKA(SINGAPORE)PTE.LTD.	800万Sドル	90.00	加工油脂、冷凍パイ生地 及び関連食品の製造・販売
マレーシア	食品	ADEKA FOODS(ASIA)SDN.BHD.	45百万RM	60.00	加工油脂の製造・販売

Ⅲ-4. 持分法適用会社概要

持分法適用会社	資本金	出資比率	事業内容
日本農薬(株)	10,939百万円	24.21%	農薬等の製造販売
(株)コープクリーン	80百万円	46.88%	石鹼、洗剤等の開発、販売

※ 持分法適用会社の増減はなし。

注) 資本金は百万円未満を切り捨てて表示

Ⅲ-5. 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光材料、記録材料、画像材料、その他
		機能化学品	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、その他
		基礎化学品	プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、工業用油脂誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、ホイップクリーム、濃縮乳タイプクリーム、フィリング類、冷凍パイ生地、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他	
その他	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他		

業績予想・事業計画に関する注意事項

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。